

平成21年度
学 校 評 価 (報告)

学校評価

- 1 学校評価の目的
 - 2 基本方針と本年度目標
 - 3 学校評価の方法と留意点
 - 4 評価委員会
1. 学校自己評価と学校関係者評価 1
 - (1) 学校自己アンケート評価
 - 生徒アンケート
 - 保護者アンケート
 - 教職員アンケート
 - (2) 学校関係者評価
 - 地域の住民アンケート
 - 近隣小学校教員アンケート
 - 2 アンケート結果、まとめ 4
 - (1) 生徒
 - (2) 保護者
 - (3) 教職員
 - (4) 地域住民
 - (5) 近隣小学校教員
 3. 生徒・保護者のアンケートの各分掌関係の評価 4
 - (1) アンケート相互関係
 4. 学校評価の現状と課題 5
 - (1) 教育活動の総括
 - (2) 成果と課題
 5. 平成21年度学校アンケートによる、まとめと今後の課題 6
 6. 平成21年度 学校評価総論
 7. 次年度に向けて

大阪商業大学堺高等学校

1. 学校評価の目的

本校の教育活動全般にわたり、実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、成果と課題を明らかにする。また、教職員の共通理解を深め、教育活動の改善や次期の教育活動計画へ生かすとともに、保護者への説明責任を果たし、開かれた学校づくりを進めることを目的とする。さらに、設置者へ報告し教育の質の向上を図る。

2. 基本方針と本年度目標

本校建学の理念「世に役立つ人物の養成」を目指し、校訓とする「誠実」で「不撓不屈の精神を」有した人物を育成する。また「自学」「自律」「勤労」を指導目標の3本柱として教育を実践する

- (1) 各コースのカリキュラムを見直し、より効率的な指導を目指し進路実績を向上させる。
- (2) 地域に定着し地域の住民から愛される学校づくりに努める。

3. 学校評価の方法と留意点

- (1) 学校評価のフォームを作成し、その項目に沿って i. 教職員アンケート、ii. 生徒アンケート、iii. 保護者アンケート iv. 地域住民アンケート v. 近隣小学校教員アンケート用紙を作成して集計を行う。

- (2) 評価項目は、各分掌に関する評価項目とし、数値で表し、成果と課題を付記する。

(3) 評価の対象

本校の教育活動全般と学校運営の状況。

(4) 評価項目の設定

- ①基本方針を踏まえ、評価項目を設定。
- ②評価項目（学習指導・生徒指導・進路指導・教育活動推進・教務活動）
- ③改善すべき課題を明確にし、重点的な評価項目を設定し自己評価を行う。

(5) 目標の数値化

客観性と達成度の確認等の観点から可能な限り数値化をする。

4. 評価委員会

- (1) メンバー（7名）教頭・教務主任・教務部長・生徒指導部長

進路部長・教育活動推進部長・特進コース委員長

(2) 実施内容

- ①学校自己評価アンケート及び学校関係者評価アンケートの作成と実施（教員・生徒・保護者・地域住民・近隣小学校教員）
- ②アンケート評価結果の集計・分析
- ③評価結果の公表資料作成
- ④次年度改善策の策定

以上

平成21年度 学校評価 (1) 学校アンケート評価 (生徒・保護者・教職員・地域住民・近隣小学校2校) No. 1

平成21年度 大阪商業大学堺高等学校 学校自己評価													
教育方針	本校建学の理念「世に役立つ人物の養成」を目指し、校訓とする「誠実」で「不撓不屈の精神を」有した人物を育成する。また「自学」「自律」「勤労」を指導目標の3本柱として教育を実践する												
本年度目標	1. 各コースのカリキュラムを見直し、より効率的な指導を目指し進路実績を向上させる。 2. 地域に定着し地域の住民から愛される学校づくりに努める。												
アンケート集計 ①=A ②=B ③=C ④=D													
領域	評価の観点	評価項目	基準	生徒	保者	教職	地域	近小	評価	総評			
学校運営	私学の独自性 (誠実と不撓不屈)	1. 建学の精神について 生① 保① 教① 地 小	A	17.7	25.8	18.3	—	—	B	昨年度との比較すれば少しではあるが向上している。生徒の評価は、昨年度とほぼ変わらないが、保護者の評価は大きく向上している。			
			09	17.8	41.2	15.2	—	—					
			B	28.3	58.1	43.3	—	—			09		
			09	29.1	47.1	48.1	—	—					
			C	27.8	9.7	28.3	—	—			B		
			09	27.2	11.8	29.1	—	—					
	D	26.2	6.5	10.0	—	—	09						
	09	26.0	0	7.6	—	—							
	地域交流	2. 地域との連携 生 保④ 教 地⑤ 小⑤	A	—	29.0	—	—	—	B		保護者の評価が向上し、地域住民、近隣小学校の評価は非常に高い。		
			09	—	16.7	—	41.7	88.0					
			B	—	45.2	—	—	—				09	
			09	—	58.3	—	41.7	12.0					
			C	—	12.9	—	—	—				A	
			09	—	25.0	—	16.7	0					
	D	—	12.9	—	—	—	09						
	09	—	0	—	0	0							
	教務関係及び特進関係	3. 授業研究 生 保⑥ 教② 地 小	A	—	9.7	8.3	—	—	C			保護者の評価は向上しているが、教職員は、教育効果を高める研究について、前年度に引き続き大きな課題であると認識している。	
			09	—	15.4	3.8	—	—					
			B	—	35.5	25.0	—	—					09
			09	—	61.5	27.8	—	—					
			C	—	45.2	31.7	—	—					C
			09	—	23.1	50.6	—	—					
		D	—	9.7	35.0	—	—	09					
		09	—	0	17.7	—	—						
4. 授業への取り組みと授業展開 生② 保④ 教④ 地 小		A	11.6	9.7	1.7	—	—	B	前年度より教職員は生徒の授業への取り組みが大きな課題と考えている。生徒の授業展開については前年度と等しい評価となっている。				
		09	9.8	21.4	5.2	—	—						
		B	39.8	51.6	35.0	—	—			09			
		09	38.9	50.0	26.0	—	—						
	C	30.1	32.3	48.3	—	—	C						
	09	30.3	21.4	50.6	—	—							
D	18.5	6.5	15.0	—	—	09							
09	21.0	7.1	18.2	—	—								
5. 各コースの授業展開 生 保⑤ 教⑤ 地 小	A	—	12.9	6.7	—	—	B	保護者は、前年度と同じく各コース目標に添った授業が展開されると評価している。教職員としての評価は厳しいものとなっている。					
	09	—	41.7	12.8	—	—							
	B	—	45.2	51.7	—	—				09			
	09	—	41.7	33.3	—	—							
	C	—	25.8	35.0	—	—			C				
	09	—	16.7	44.9	—	—							
D	—	16.1	6.7	—	—	09							
09	—	0	9.0	—	—								
生徒指導	6. マナー指導について 生⑩ 保⑩ 教⑩ 地① 小①	A	17.1	22.6	3.3	—	—		B	保護者、近隣小教諭、地域住民の評価は高いが、生徒も問題意識を持っており、教職員は今後の課題と考えている。			
		09	14.5	21.4	2.5	41.2	52.0						
		B	27.1	51.6	25.0	—	—				09		
		09	25.9	50.0	22.8	47.1	48.0						
		C	32.5	16.1	51.7	—	—	B					
		09	33.7	21.4	57.0	11.8	0						
	D	23.3	9.7	20.0	—	—	09						
	09	25.9	7.1	17.7	0	0							
	7. 校則に対する意識 生⑩ 保⑩ 教⑩ 地 小	A	14.5	9.7	3.3	—	—	C	前年度同様教職員は生徒の校則に対する意識が希薄であると感じている。保護者・生徒の意識はも同様である。				
		09	15.5	7.1	2.5	—	—						
		B	33.3	45.2	25.0	—	—				09		
		09	28.8	35.7	22.8	—	—						
C		29.4	38.7	51.7	—	—	C						
09		32.2	28.6	57.0	—	—							
D	22.8	6.5	20.0	—	—	09							
09	23.5	28.6	17.7	—	—								

アンケート集計		①=A	②=B	③=C	④=D			評価	総評		
領域	評価の観点	評価項目	基準	生徒	保者	教職	地域	近小			
	進路指導	8. 進路情報の提供 生⑤ 保⑦ 教⑥ 地 小	A	19.7	20.0	18.3	—	—	B	教職員、保護者ともに進路情報が適切に提供されていると評価している。	
			09	19.3	35.7	17.7	—	—			
			B	42.6	40.0	63.3	—	—	09		
			09	41.1	35.7	58.2	—	—			
			C	25.6	20.0	11.7	—	—	B		
			09	25.7	21.4	20.3	—	—			
	D	12.1	20.0	6.7	—	—	09				
	09	13.9	7.1	3.8	—	—					
	進路指導	9. 外部実力テストの利用 生⑦ 保⑧ 教⑧ 地 小	A	11.9	16.1	10.0	—	—	B		前年度同様に保護者はうまく利用していると評価は高い。生徒・教職員の見方は等しく利用について、課題が見られる。
			09	10.7	15.4	5.1	—	—			
			B	31.1	41.9	38.3	—	—	09		
			09	32.8	46.2	38.0	—	—			
			C	36.3	22.6	48.3	—	—	B		
			09	34.9	30.8	49.4	—	—			
		D	20.7	19.4	3.3	—	—	09			
		09	21.7	7.7	7.6	—	—				
		10. 授業以外の補習・講座体制 生⑨ 保⑨ 教⑨ 地 小	A	16.3	19.4	23.3	—	—	B	前年度同様に保護者・生徒の評価と教職員の評価が大きく違いを見せている。この開きについてが改善課題である。	
			09	11.7	6.7	16.7	—	—			
			B	32.5	32.3	55.0	—	—	09		
			09	33.9	40.0	48.7	—	—			
	C		33.3	38.7	13.3	—	—	C			
	09		34.7	33.3	26.9	—	—				
	D	17.9	9.7	8.3	—	—	09				
	09	19.7	20.0	7.7	—	—					
教育活動推進	11. ホームルーム活動（学校生活） 生⑬ 保⑮ 教⑬ 地 小	A	34.8	33.3	15.0	—	—	B	前年度同様保護者の学校生活全般にわたる評価は高く、教職員もほぼ見方は近い。生徒も役7割強が楽しい雰囲気での学校生活を送っている。		
		09	33.4	83.3	11.4	—	—				
		B	37.3	60.0	63.3	—	—	09			
		09	35.6	16.7	63.3	—	—				
		C	16.4	3.3	16.7	—	—	B			
		09	19.0	0	24.1	—	—				
	D	11.5	3.3	5.0	—	—	09				
	09	12.0	0	1.3	—	—					
	12. 学校行事 生⑬ 保⑬ 教⑩ 地 小	A	25.2	46.7	35.0	—	—	B		前年度同様、生徒、保護者、教職員ともに高い評価となっている。保護者の評価が高いのは、保護者参加の行事になってきている点大きい。	
		09	23.9	57.1	31.6	—	—				
		B	40.2	46.7	45.0	—	—	09			
		09	36.0	35.7	48.1	—	—				
		C	19.0	6.7	18.3	—	—	B			
		09	22.9	7.1	19.0	—	—				
	D	15.6	0.0	1.7	—	—	09				
	09	17.1	0	1.3	—	—					
	13. 部活動の活性化 生⑭ 保⑭ 教⑩ 地② 小②	A	32.7	51.7	30.0	—	—	B	前年度同様、生徒、保護者、教職員、に加え地域住民、近隣小教諭ともに、活発であると評価は高い。		
		09	29.2	28.6	43.0	30.8	92.0				
		B	39.1	34.5	45.0	—	—	09			
		09	36.3	64.3	36.7	38.5	8.0				
		C	16.5	10.3	25.0	—	—	B			
		09	19.5	7.1	17.7	23.1	0				
	D	11.7	3.4	0.0	—	—	09				
	09	15.0	0	2.5	7.7	0					
14. 図書の実充 生⑮ 保 教 地 小	A	25.9	—	—	—	—	B	前年と同じく過半数以上6割強の生徒が充実していると評価している。より一層の充実が、読書の推進につながると思われる。			
	09	22.7	—	—	—	—					
	B	36.8	—	—	—	—	09				
	09	34.9	—	—	—	—					
	C	24.2	—	—	—	—	B				
	09	24.4	—	—	—	—					
D	13.1	—	—	—	—	09					
09	17.9	—	—	—	—						
教職員及び保護者の連携	15. 教職員の連携状況 生③ 保 教③ 地 小	A	14.4	—	20.0	—	—		B	生徒の評価は前年度と等しいが教職員の連携状況の評価は高くなっている。	
		09	13.5	—	21.5	—	—				
		B	37.4	—	36.7	—	—		09		
		09	35.6	—	43.0	—	—				
		C	29.3	—	31.7	—	—	B			
		09	31.5	—	26.6	—	—				
D	18.9	—	11.7	—	—	09					
09	19.3	—	8.9	—	—						

アンケート集計 ①=A ②=B ③=C ④=D												
領域	評価の観点	評価項目	基準	生徒	保者	教職	地域	近小	評価	総 評		
		16. 学校と 家庭の連携 生保③ 教④	A	—	19.4	6.7	—	—	B	前年度と同様教職員・保護者ともに評価は高くなっている。さらに連携を強化し、信頼と和の構築を深めていかなければならない。		
			09	—	50.0	12.7	—	—	09			
			B	—	54.8	65.0	—	—	B			
			09	—	41.7	59.5	—	—				
			C	—	16.1	23.3	—	—				
			09	—	8.3	26.6	—	—				
		D	—	9.7	5.0	—	—					
		09	—	0	1.3	—	—					
		健康管理	17. 定期健康 診断の実施 と予防 生② 保 教	A	21.6	—	—	—	—		B	前年度同様健康面では適切な対応がなされており評価は高い。
				09	22.0	—	—	—	—		09	
				B	42.3	—	—	—	—		B	
				09	41.0	—	—	—	—			
	C			23.7	—	—	—	—				
	09			22.1	—	—	—	—				
	D	12.5	—	—	—	—						
	09	14.9	—	—	—	—						
			18. トイレ及び 手洗い場の衛生 生⑨ 保 教 地 小	A	33.1	—	—	—	—	B	前年度同様衛生面で適切な対応がされていると評価は高くなっている。	
				09	34.0	—	—	—	—	09		
				B	38.4	—	—	—	—	B		
				09	37.8	—	—	—	—			
				C	17.1	—	—	—	—			
				09	16.7	—	—	—	—			
		D	11.4	—	—	—	—					
		09	11.5	—	—	—	—					
委員会		施設・設備	19. 施設・設備 の充実 生⑩ 保⑩ 教④ 地③ 小③	A	18.9	22.6	3.3	—	—	B		教職員の評価と生徒・保護者の評価が分かれている。地域住民、近隣小教諭の評価は高い。
				09	15.5	33.3	6.3	50.0	68.0	09		
				B	36.0	45.2	35.0	—	—	B		
				09	34.2	58.3	32.9	41.7	32.0			
	C			25.6	19.4	35.0	—	—				
	09			29.3	8.3	43.0	8.3	0				
	D		19.5	12.9	26.7	—	—					
	09		21.0	0	17.7	0	0					
			20. 清掃環境 生⑦ 保⑦ 教⑫ 地④ 小④	A	32.9	45.2	28.3	—	—	B	生徒・保護者・教職員、地域住民、近隣小教諭ともに高い評価である。	
				09	28.5	66.7	27.8	21.4	68.0	09		
				B	35.9	45.2	40.0	—	—	B		
				09	36.4	25.0	48.1	50.0	32.0			
		C		19.9	6.5	18.3	—	—				
		09		21.8	8.3	19.0	21.4	0				
	D	11.3	3.2	13.3	—	—						
	09	13.3	0	5.1	7.1	0						
		人権教育推 進委員会	20. 人権教育 生⑫ 保⑫ 教⑨ 地 小	A	16.7	19.4	6.7	—	—	B	前年度より保護者の評価は少し高いが、生徒はほぼ等しい評価である。教職員は人権教育が十分ではないと評価している。	
				09	15.7	21.4	5.1	—	—	09		
				B	32.4	41.9	43.3	—	—	B		
				09	34.8	50.0	38.0	—	—			
				C	27.7	29.0	33.3	—	—			
				09	28.7	21.4	44.3	—	—			
		D	23.3	9.7	16.7	—	—					
		09	20.8	7.1	12.7	—	—					
総合学習 委員会		21. 進路学習 生⑧ 保 教 地 小	A	15.9	—	—	—	—	B	前年度より進路学習の評価が全体的に少し下がっている。よりいっそうの充実をはかる必要がある。		
			09	13.4	—	—	—	—	09			
			B	37.9	—	—	—	—	B			
			09	35.7	—	—	—	—				
	C		29.7	—	—	—	—					
	09		33.1	—	—	—	—					
D	16.5	—	—	—	—							
09	17.8	—	—	—	—							
その他	入学満足度	22. 入学について 生 保⑫ 教⑫ 地 小	A	—	60.0	6.7	—	—	B	前年度と同じく保護者の評価は高い。生徒が満足していると教職員は判断している。		
			09	—	84.6	10.1	—	—	09			
			B	—	30.0	65.0	—	—	A			
			09	—	15.4	60.8	—	—				
			C	—	6.7	23.3	—	—				
			09	—	0	22.8	—	—				
			D	—	3.3	5.0	—	—				
			09	—	0	6.3	—	—				

アンケート集計 ①=A ②=B ③=C ④=D											
領域	評価の観点	評価項目	評価	生徒	保者	教職	地域	近小	総評	成果と課題	
	生徒と教職	23.相談について	A	—	61.3	33.3	—	—	B	前年同様保護者、教員とも生徒との関係については良好であると見ている。	
			09	—	76.9	29.1	—	—			
	員関係	生保⑩教⑮ 地小	B	—	35.5	60.0	—	—	09		
			09	—	15.4	58.2	—	—			
			C	—	3.2	5.0	—	—			A
			09	—	7.7	11.4	—	—			
D	—	0.0	1.7	—	—						
09	—	0	1.3	—	—						

2. アンケート結果（まとめ）

	生徒	保護者	教職員
良い評価	<ul style="list-style-type: none"> 入学してよかった 先生の面倒見がよい 学校行事が楽しい 学校の雰囲気がよく楽しい 部活動が活発である 	<ul style="list-style-type: none"> 入学させてよかった 先生と生徒の関係がよい 部活動が活発 学校行事は楽しく協力 清掃がなされていてよい環境 教育全般に信頼されている 家庭と学校との協力体制がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の入学満足度 学校行事は楽しく充実 生徒の相談によく応じている 部活動が活発 清掃がなされていてよい環境 学校と家庭との連携、進路、学校行事、生徒の相談、家庭連絡等で熱心に実施しているものについての評価が高い
09	<ul style="list-style-type: none"> 全体的昨年度と同様な結果となっている。 入学してよかった 先生の面倒見がよい 学校行事が楽しい 学校の雰囲気がよく楽しい 部活動が活発である 衛生面での適切な対応 図書の実充 健康面での対応 	<ul style="list-style-type: none"> 全体として評価は昨年より向上している。 入学させてよかった向上 先生と生徒の関係がよい 部活動が活発 学校行事は楽しく協力 清掃がなされていてよい環境 教育全般に信頼されている。 家庭と学校との協力体制がなされている。 地域との連携 学校生活について 進路情報の提供 マナーの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と同じような評価である。 生徒の入学満足度 学校行事は楽しく充実 生徒の相談によく応じている 部活動が活発 清掃がなされていてよい環境 学校と家庭との連携、進路、学校行事、生徒の相談、家庭連絡等で熱心に実施しているものについての評価が高い 教職員の連携 清掃面の充実
厳しい評価	<ul style="list-style-type: none"> 授業について 誠実な行動 外部テストの利用 マナーと挨拶 校則マナーについて生徒の自己評価に厳しいものを持っている 	<ul style="list-style-type: none"> 教材や教え方に工夫 校則や社会のルール 補講、講座を充実・学習指導や進路情報、校則については見えにくい部分もあるようである 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業の取り組み 教育施設は充実 生徒は校則について理解 外部テストの利用 教員の研修（効果ある）を望んでいる 施設のより充実したものを望んでいる 生徒の授業状況や校則について厳しい考えを持っている
09	<ul style="list-style-type: none"> 誠実な行動 外部テストの利用 マナーと挨拶 前年度と同じく校則マナーについて生徒の自己評価に厳しいものを持っている 授業以外の補習、講座体制について 	<ul style="list-style-type: none"> 教材や教え方に工夫 校則や社会のルールの指導 補講、講座を充実・学習指導や校則については見えにくい部分もあるようである。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業の取り組みが、より厳しくなっている 教育施設の充実 生徒の校則についての理解 コース目標に添った指導 外部テストの利用 教員の効果ある研修 より充実した施設 生徒の授業状況や校則について厳しい考えを持っている 授業研究について 人権教育について不十分であると認識

	地域住民	近隣小学校教諭
良い評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携評価は非常に高い ・マナー評価も高い ・部活動は活発である ・施設・設備について ・清掃環境について 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携評価は非常に高い ・マナー評価も高い ・部活動も活発である。 ・施設・設備について ・清掃環境について
厳しい評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

3. 生徒・保護者のアンケートの各分掌関係の評価

	生徒指導	進路指導	教育推進	教務・授業
生徒アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒はマナー・挨拶等についての問題意識を持っている ・校則は妥当でないものもあるという意識が何われるが、指導のあり方についての課題が大きいと考えられる ・建学の精神も理解と実践という点が課題と思っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報とアドバイスのついて、教員との相違が大きい。また、補習体制や、進学講座についても不十分だと評価している ・外部テストの利用についても十分だとは感じていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等は楽しく、クラスでの学校生活についても満足している高い評価が出ている。 ・部活動においても活発に活動していると思っている。 ・図書室については一定の評価をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みと授業展開については半数の生徒が厳しい評価をしているが、自分に対する評価についてはほぼ正しいと評価している。
	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神の理解については変化はない ・校則については妥当でないという意識もあるが、指導面の課題があるように思われる。 ・挨拶やマナーについては、問題意識を持つ者が多くなっている 	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は補習体制や進学講座を不十分だと思っている ・外部テストの利用については昨年と同じ評価で十分であると思っていない 	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、学校生活は満足度は高い ・部活動については活動の評価が下がっている ・図書室については充実していると評価している 	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より授業の取り組みについては厳しい評価をしている ・授業が分かりやすく展開されていないと評価している生徒が過半数である
保護者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶やマナーについての評価は高い。 ・校則や社会のルールについては、一定の評価をされているが問題意識をもたれている方も多い ・家庭と学校の連携、協力体制の評価は高い ・建学の精神の誠実に生きる指導には高い評価をされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報は適切に提供され、外部テストの活用と進路指導については充実していると一定の評価をされている。 ・補習や進学講座については評価が割れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等は楽しく、学校生活も快適に送っている高い評価が出ている。 ・部活動についても活発であるという評価を得ている。 ・生徒と教員の人間関係については非常に高い評価を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かりやすく展開され、学習活動の点は一定の評価を得ているが、教材や教え方のくふうについて厳しい評価となっている。
	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同じく挨拶やマナーについての評価は高い ・校則や社会のルールについても評価をされている ・家庭と学校の連携、協力体制の評価は高い ・建学の精神の誠実に生きる指導には高い評価をされている 	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路情報の提供は改善されている ・補習体制や進学講座の体制について十分であると評価されていない 	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、学校生活ともに高い評価である ・部活動についても高い評価である ・教職員との人間関係も評価は高い 	<p>0 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かりやすく展開されている ・生徒の評価と相違がある

3. アンケート相互関係（生徒・保護者・教員の評価の相違点）

項目	評価者		生徒	保護者	教員
授業への取り組みと授業展開	08	B	39.8%	08 B 51.6%	08 C 48.3%
	09	B	38.9%	09 B 50.9%	09 C 50.6%
マナー指導について	08	C	32.5%	08 B 51.6%	08 B 48.3%
	09	C	33.7%	09 B 50.0%	09 C 57.0%※
進路情報の提供	08	B	42.6%	08 B 40.0%	08 B 63.3%
	09	B	41.4%	09 B 35.7%	09 B 58.2%
外部実力テスト利用	08	C	36.3%	08 B 41.9%	08 C 48.3%
	09	C	34.9%	09 B 46.2%	09 C 49.4%

※ アンケートの相関関係から見ると、教職員の評価の中でマナー指導の問題が大きな課題と読み取れる。次年度に向けて大きな課題であろう。

4. 学校評価の現状と課題

	生徒	保護者	教員
08 現 状	<ul style="list-style-type: none"> マナーと挨拶については問題意識を自覚している生徒が過半数に達している 7割以上の生徒が学校の雰囲気と楽しい学校生活を送っているように読み取れる 学校行事充実し、楽しく協力し合っている生徒や部活動の活動も活発であると感じている 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と商大堺に入学させてよかったと思う評価が8割以上ある 学校行事等が充実し、部活動も活発であるという評価も高い 生徒は学校生活を楽しんで送って、先生との関係もよいと感じている。 校内の美化や施設についても高い評価をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が本校に入学したことを満足しているという評価が高く、家庭と学校の連絡が密になっていると考えている 進路情報を適切に提供し、適切なアドバイスを行っているという評価している 学校行事は楽しく協力しあっている部活動は活発であるという評価し、学校での生活が子供にとって快適であると評価している 校内美化についてはなされていよい環境である
09 現 状	<ul style="list-style-type: none"> マナーと挨拶については昨年より問題意識もっている生徒が7割に達している 学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と同じく商大堺に入学させてよかったと思う方評価が8割以上である 学校行事等が充実し、部活動も活発であるという評価も高い 校内清掃や施設についても評価は高くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 本校での満足度の評価は前年度より高く、家庭との連絡も密になっていると評価している 進路情報に関しては少しであるが評価が下がっている 学校行事、部活動ともに評価は高い 清掃活動は高い評価である
08 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神については理解しているものの、行動が伴っていない点が課題である 本校生はマナーと挨拶について問題意識を持っているのでその指導については課題である 進路に関する情報、アドバイスについて、より一層の取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材や教え方についての評価が厳しい評価となっている点や、進路希望に沿った補講等の充実が望まれていると思われる。 校則や社会のルールについては一定の評価はされているが、半数近くは厳しい評価となっている、今後の課題である 	<ul style="list-style-type: none"> 教育効果を高める研究がなされていないという厳しい評価である 生徒の授業に対する取り組みについて、熱心に取り組んでいないという評価が大多数である 施設全般については充実していないと評価している 外部テストの利用についての評価意見が分かれている。利用方法等の共通認識が望まれる
09 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度よりマナーと挨拶について問題意識は強くなっている、指導については課題である 進路に関する情報、アドバイスは、より一層の取り組みが必要である 	<ul style="list-style-type: none"> 教材や教え方についての評価は向上しているがより一層の努力が必要である 進路希望に沿った補講等の充実が望まれている 校則や社会のルールについての意識が希薄であると評価されている マナー指導については一定の評価がされている 	<ul style="list-style-type: none"> 教育効果を高める研究がなされていないという厳しい評価である 生徒の授業に対する取り組みについて、厳しい評価である 外部テストの利用についての評価が下がっている・校則についての理解度が低いと生徒が評価している

5. 平成21年度学校評価アンケートによる、まとめと課題

(1) 建学の精神の「誠実」な生き方について

- ・「誠実」な生き方を理解しているものの実行が伴わないと感じている生徒が、過半数近くあり、具体的な指導を検討する必要がある。

09

生徒は誠実な生き方についての問題意識を持ってはいるが、昨年と同じく自分の行動が伴わないことにいらだちを覚えているように感じられる。建学の理念の解釈に「思いやりと礼節をわきまえた責任感ある立派な人物」「プラス思考で取り組む楽しい生き方」から具体的に実践できるように取り組むことが次年度の課題である。

(2) 生活指導関係

- ・社会のルールやマナー、挨拶、校則について、問題意識を持って、守れていないと自覚している生徒が多く、今後、日々の生活の中でどのように指導するか、検討が必要である。

09

社会のルールやマナーについては、昨年同様問題意識は持っているが守れていないと自覚している生徒が多くいる。今年度の課題でもあった具体的な指導をより充実し、心情化し、習慣化し、生活化して自己改革をすることが、自分を向上させることにつなげる指導を行う。

(3) 進路指導関係

- ・進路に関する情報の提供とアドバイスについて、先生方との認識の差が大きい。また補習体制や進学講座等も不十分であると感じている生徒が、約半数近くあるが詳細な分析が必要である。
- ・外部テストの活用にも不十分である等の評価もあり、検討課題である。

09

進路情報に関する提供とアドバイスについての開きは小さくなっているが、依然補習体制や進学講座を含め不十分であると感じている生徒が増加し、教職員もそれを認識し、同じように次年度に早急に具体策が必要である。

(4) 教務・授業関係

- ・授業の取り組みについて、先生方の評価が非常に厳しいものがあり、授業態度から改善をする必要があるように考えられる。
- ・教材や教え方などについて、厳しい評価があり検討する必要がある。

09

授業に対する取り組みについては、昨年同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取り組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

6. 平成20年度 学校評価総論

学校評価の趣旨に沿い、各分掌・各委員会関係項目を評価の基本にし、本校の強み、弱み、改善点等を明らかにし、学校の説明責任を果たすために生徒・保護者・教職員を対象にアンケート作成しアンケート評価を実施いたしました。

総論的には、生徒・保護者・教職員ともに学校生活・学校行事等について満足度評価は高いと評価していることや何でも相談できる面倒見のよいという信頼関係の評価は、本校の特筆すべき強みである。

さらに、生徒アンケートでのマナーや挨拶、社会のルール等では自分たちの評価に厳しい評価をしている点は、次年度以降の指導の課題であろう。また、相違点としては、保護者の教材や教え方の工夫について厳しい評価が寄せられ、生徒の厳しい評価としては、進路情報の提供や外部テストの利用に教員との思いに大きな開きがあり改善点である。

平成21年度 学校評価総論

学校評価の趣旨に沿い、各分掌・各委員会関係項目を評価の基本にし、本校の特色、充実度、改善点等を明らかにし、学校の説明責任を果たすために生徒・保護者・教職員に加え地域住民・近隣小学校先生方を対象にアンケートを作成しアンケート評価を実施いたしました。

総論的には、生徒・保護者・教職員ともに学校生活・学校行事等については昨年と同じく、満足度評価は高く何でも相談できる面倒見のよいという信頼関係の評価は、引き続き本校の特筆すべき点である。また今年度は学校関係者評価として項目を絞って、地域住民・近隣小学校の先生方にアンケート評価をお願いしました。評価としては各項目ともに非常に良い評価を頂きましたが、これに甘えることなく、生徒のマナー改善やより開かれた地域を支える学校へと努力する必要がある。

さらに、生徒アンケートでのマナーや挨拶、社会のルール等では自分たちの評価に厳しい評価をしている点は、引き続き次年度以降の指導の課題であろう。また、保護者の教材や教え方の工夫については良い評価がよされている。対して生徒の評価は厳しく、授業展開、進路情報の提供や外部テストの利用に未だ教員との思いに大きな開きがあり改善点である。

7. 次年度に向けて

1. 今年度に引き続き学校評価のアンケートの対象を広げ実施する。
2. 学校評価（情報）の公開についての方法と地域への情報提供の検討。

09 次年度に向けて

1. 3カ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出して、本校の教育の充実を図る。
2. 第三者評価を実施する。